

# はにわ通信

No.272 平成 29 (2017) 年 11 月号

「土偶と生活  
(くらし)」展  
見に来てね!



## 【西日本最大級の配石遺構が発見された「天白遺跡」】



写真1 土偶(天白遺跡) 三重県埋蔵文化財センター提供

当文化財センターでは、10月28日(土)から12月3日(日)まで、松阪市文化財センター開館20周年記念にはにわ館特別展「土偶と生活(くらし)」を開催しています。今月号では、「土偶と生活(くらし)」展で展示している土偶が発見された松阪市内の遺跡のひとつ、天白遺跡(嬉野釜生田町・国史跡)を紹介します。

天白遺跡は、先月号で紹介した粥見井尻遺跡(飯南町粥見)と同じく、縄文時代の遺跡です。上の年表(1)のとおりに、粥見井尻遺跡が草創期の遺跡であるのに対し、天白遺跡は中期から晩期にかけての遺跡です。中でも、後

期半ばから晩期初めにかけて最盛期を迎えました。縄文時代は1万年以上続いたので、同じ縄文時代とはいっても、これら2つの遺跡が営まれた時期には5千年以上の大きな開きがあります。では、天白遺跡からはどのようなものが見つかったのでしょうか?

天白遺跡から見つかったもので、まず、注目したいのが土偶です。天白遺跡からは、70点の土偶が見つっていますが、三重県内で見つかった土偶の総数が101点(2)であることを考えると、その数がきわだって多いことがわかります。さらに、天白遺跡の南西約2kmに位置する下沖遺跡からも、ほぼ同時期の土偶が16点見つっています。三重県内で見つかった土偶の約8割が、この天白遺跡を中心とした嬉野地域の狭い範囲から見つかったことに驚かされます。

そして、天白遺跡から見つかった最も特徴的なものが、配石遺構です。配石遺構とは、写真2のように石を集め、円形や楕円形などに配置した縄文時代の遺構で、墓やマツリの場だったのではないかと考えられています。東日本で多く見つかり、日時計状組石の見つかった大湯環状列石(秋田県)や忍路環状列石(北海道)が有名です。天白遺跡では、発掘調査によって30基の配石遺構が発見されましたが、これは西日本最大級の規模です。また、配石遺構以外に上述した土偶や埋設土器(3)、石棒(4)などが出土し、さらに、住居跡が見つからないことから、天白遺跡は日常的な生活の場とは異なる、マツリの場だったのではないかと考えられています。



写真2 配石遺構(天白遺跡) 三重県埋蔵文化財センター提供

現在、天白遺跡は史跡公園として整備され、一部の配石遺構が復元されています。嬉野の山間にある天白遺跡で、縄文時代に生きた人々がどのようなマツリを行い、何を祈ったのか想像してみるのも面白いかもしれません。(担当)

(1) 縄文時代のはじまり・終わりの時期や各期の区分については諸説あります。  
(2) 平成7年3月時点の数です。  
(3) 意図的に埋められた状態で見つかる土器。子供の埋葬に使用される場合もありますが、天白遺跡での用途は分かっていません。  
(4) 祭祀に使われた道具で、石で男性器を表現したものと考えられています。  
※今回ははにわ通信を書く際、『天白遺跡-本文編-』(三重県埋蔵文化財センター、1995年)と『松阪市の指定文化財案内』(松阪市教育委員会、2006年)等を参考にしました。また、過去の「はにわ通信」は当センターのホームページでご覧いただけます。

## 【「粥見井尻遺跡まつり」と「うれしの天白縄文まつり」のお知らせ】

当文化財センターは、「粥見井尻遺跡まつり」を11月19日(日)9時30分から12時30分まで、松阪市立飯南ひまわり保育園にて、「うれしの天白縄文まつり」を11月26日(日)9時30分から14時まで、天白遺跡公園にて行います。古代歴史体験として、勾玉作りや火起こしなど、さまざまな体験コーナーを準備しています。皆さま、ぜひお越し下さい。お待ちしております!(担当)

## 【Musée du Haniwakan】

次の3月、はにわ館は15年目の春を迎える。この間、たくさんの方にご来館いただいた。その数は16万人にもなる。宝塚古墳の船形埴輪を常設展示している。初めてご覧になった方には、「これはすごい」と言われることしきり…。2度見ても「やっぱりすごい」と。9月に、ある全国紙に「常設展示のすごいお宝」として紹介を受けた。船の前の長椅子に座りながら当時の様子に思いを巡らすのもなかなかのものだ。非日常の時をそっと楽しむ。はにわ館はそんなところ…。

今秋、第二展示室の展示ケースの3台を更新した。気密性がより高くなり資料の展示環境が格段に向上した。このことで、重要資料の展示が容易になり、また、展示のレイアウトの幅が広がった。今後の企画展などに期待をいただきたい。

早速、青森県や三重県から資料を借用して、数多くの「土偶」を展示している。必見のものだと自負をしているので、ぜひ見に来て下さい。(所長)



土偶のイメージ(当センター製作)

## 文化財センター はにわ館 & ギャラリー 11月の催し物予定

11月の休館日は6(月)、13(月)、20(月)、24(金)、27(月)です。開館時間は9:00~17:00です。

【はにわ館】 入館料100円(18歳以下無料) \*入館は16:30まで

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■開館20周年記念にはにわ館特別展「土偶と生活(くらし)」10/28(土)~12/3(日)

第3G ■特別展講演会「土偶の始まり・土偶の現在」11/4(土)13:30~15:00

※11/18(土)、19(日)は「関西文化の日」のため、はにわ館の入館料が無料になります!

【ギャラリー】 入場無料 \*最終日は16:00まで

第2G ■グループいずみ 日本画展 11/7(火)~11/12(日)9:00~16:30 ※初日は12:00から

第3G ■第95回 松阪銀鈴会写真展 11/7(火)~11/12(日)10:00~17:00 ※初日は13:00から

第1G ■ニッコールクラブ松阪支部作品展 11/8(水)~11/12(日)9:30~16:40

第3G ■第26回 全日写連マツサカ四五支部写真展 11/15(水)~11/19(日)9:00~17:00

第1G ■アトリエ・ルイ 2017 11/17(金)~11/19(日)10:00~17:00

第2G ■松阪美術協会 郷土を描く展 11/19(日)~11/26(日)9:00~17:00

第3G ■花岡公民館 伊勢型紙・水墨画展 11/21(火)~11/26(日)9:00~17:00 ※初日は13:00から、最終日は15:00まで

第1G ■ふるさとスケッチ「風の会」展 11/23(木)~11/26(日)9:00~17:00

### 【イベント】

第2G ★ワークショップ「古代組ひもづくり・土偶ストラップづくり」

11/4(土)10:00~15:30 ※予約不要、参加費100円

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/



バーコード読み取り(文化財センター情報)